

## ギャラリー 仲摩通信

二〇二五年一、二月合併号

新年あけ  
ましておめ  
でござい  
ます。昨



イヴァナ・シュラムコヴァー

「大きなヘビ」

年も「ギャラリー 仲摩通信」をご愛顧くださりありがとうございます。本年もどうぞ、宜しくお願い申し上げます。

ガラス芸術の発展を願い、神頼みの想いでウェブを検索してビックリ！何とガラスの鳥居のある神社がありました。

「神徳稲荷神社」―鹿児島県鹿屋市にあります。墓石にガラス、納戸骨堂にもガラスが使われています。



神徳稲荷神社 HP から

ぜひ、お参りしたいですね。

今号では、相原孝一さんの「目白台・関口史跡めぐり」、リニューアルする横浜美術館他のご紹介を致します。本年の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

## ☆記憶の空間から想い巡らす地域愛に繋げてゆきたい

あなたは、地域愛という言葉を聴いて何を思い浮かべますでしょうか。私の生まれ育った東京の文京区には、関口芭蕉庵という処が在りますが、隣は椿山荘で、その隣にある関口台町小学校が私の母校です。

小学校の担任の先生との地域の歴史を学ぶ芭蕉庵での校外活動の遙か昔の記憶が、いつの日か朧気ながら先生と過ごした同窓の仲間とゆかりの史跡巡りをしたいという想いがつのり、想い出のかけらを拾い集めて、掘り起こして、今との繋がりを知って、まちの歴史や文化、美に愛着や誇りをもってもらえればと【福島先生と目白台・関口史跡巡り】を企画してみました。

小雨にけむる街並みの実施当日、令和六年（二〇二四年）十一月二十一日の朝、お元気な九十二歳の先生と二人で目白台図書館谷山館長に『こもれび』（開館四十周年記念誌）を今回の参加者のために頂いていたので、お礼のご挨拶をさせていただきしました。閑静な住宅街に佇む落ち着いた図書館で、地域資料のコーナーを設けてあり有難く、ぜひ寄って

みてください。

先ずトップバッターは、高田老松町（現目白台）のポテトチップスの湖池屋跡地です。昭和三十年代に目白通り沿いの目白台三丁目バス停の斜め前に会社工場（現在は《まいばすけっと》店舗マンション）がありまして、創業家で小学校の同級生でした現、代表取締役会長の小池孝氏とはよく遊んだので、手紙を出しましたら、今回のレジュメのためにご挨拶と当時の貴重な写真をご提供いただきました。大変感謝致しております。ポテトチップスの研究を始めた創業と発展のスタートになった地としてあり、成増工場に移転後に日本で初めての量産化の製造ラインへの稼働へと繋がった発展の歴史を知ることが出来ました。私は図画工作が好きでしたが、記憶の中では、彼が描いた絵は、こどもでも空間把握ができていて上手で凄い驚きました。

次に先生にとって母校の寮でしたお茶の水女子大老寮跡地（元雲照寺）には、昭和三十二年（一九五七年）の地図と寮の写真以外は建物や施設となり何も残ってはいませんでした。後日、想い出のかけらを観つけたようでした。

続いて、あの村上春樹の『ノルウェイの森』の誕生した和敬塾のなかにある本館【旧細川侯爵邸】（昭和十一年（一九三六年）建造で東京都指定有形文化財）のレトロな格調高い玄関をくぐり、文化財保存活用グループの丸山修司氏が、各部屋をご案内しながら細川家、趣向を凝らした建物の造り、建具等の秘められたエピソードを熱く語られ、興味深く聴かせて頂きました。

お昼になりランチに向かう道で、和敬塾の寮生が掃除のお手伝いをしていたまちの銭湯【月の湯】（平成二十七年（二〇一五年）解体）の前を通ると一月に亡くなった東京音大生楽科出身の店主でした山田泰江さんの歌声が昔ながらの番台から聴こえてくるように思われました。

会食ランチは、古代の大形建物跡が確認されている東大分院跡地（平成十三年（二〇〇一年）に百四年の歴史を経て閉院）に残った旧守衛所を見て、すぐ脇のビレッジ・マルシェで食事をしました。病院から生まれ変わった東京大学インターナショナルヴィレッジの国際宿舎を眺めていると、我が家から三軒先にお住まいで、大変お世話になりました外科の

名医でした林田先生（故人）家族との近所付き合いを思い起こしていました。

午後から、東京カテドラル聖マリア大聖堂〔設計…丹下健三氏（故人）昭和三十九年（一九六四年）落成〕に入ると、パイプオルガンの鳴り響いていて、参加者の多くがこの教会の【みその幼稚園】出身者で、原初回帰したような想い出と共に、母校の小学校へと向かいました。

令和六年（二〇二四年）十月五日に開校九十九周年を迎えた関口台町小学校に着くと校門脇の幸神社に三笠屋文具店の古い写真、先生と同窓生、それぞれの想いを胸に本日、お元氣で再会できたことに改めて感謝でした。

若い頃にギャラリー仲摩に勤めていた私は、設計事務所の名鑑を頼りに建築家を訪ねては、建築空間にガラスアー

トを提案

する営業

をして歩

き、お蔭

様で平成

六年（一九九四年）



関口フランスパンにて

に株式会社野生司環境設計の伊東俊



コペツキー作品の前で

左から参加者／福島進子先生／

筆者・相原孝一氏／参加者

之氏（現代表取締役社長で建築家、

関口台町小学校出身）により、日本

での本格派フランスパン発祥の地である関口フランスパン〔明治二十一年（一八八八年）創業〕の目白坂S

Tビルのエントランスホールにチェコのヴラジミール・コペツキー氏の

ガラスアートを納めさせていただく

ことができましたことは、創業家の高世氏、建築家伊東俊之氏他関係者

に感謝と誇りでもあります。

また、敷地内には、スピリチュアルな関口水神社も鎮座しています。かつて小学校給食でも大変美味しいと

評判であり客が絶えない地域文化として根づいています関口フランスパン、この目白坂本店の素敵な空間で、

出来たてのパンを選んで召し上がってくつろぐのもよいし手土産にもお

勧めします。

さいごは、同窓生（住職…野口義

之氏）の由緒ある浄土宗の養國寺

〔寛永元年（一六二四年）に起立〕

で、一息ついて、庭から空を見上げると虹が出ていて皆喜び、奥様から

すぐ近くにあり戦災で焼失した目白不動等のお話しを伺って、九人の史跡巡りは無事に終わり解散、帰路につきました。

レジュメには福島進子先生から「今も忘れられない町」、小池孝会長から「忘れられない大切な場所」という言葉があります。令和七年（二〇二五年）は、あなたもまち巡りに

出かけてみてはいかがでしょうか。未来に向けて開かれた地域愛の道に繋がる大切なものを観つけていただければ幸いです。

☆仲摩マサ枝さんに感謝！

ギャラリー仲摩元スタッフ 相原孝一

■美術館情報

◆横浜美術館

横浜美術館が今年二月、全館オープンを迎えます。

リニューアル記念展「おかえり、『E』」

会期…二〇二五年二月八日～六月二日

さまざまな切り口で、所蔵品の魅力を紹介するコレクション展。

近現代を中心とした多様な美術を独自の視点で読み解く企画展。

グランドギャラリーの彫刻、ギャラリー8・9や屋外の作品などもお忘れなく。

お気に入りの作品やアーティストを探してみませんか？

<https://yokohama.art.museum>

◆富山市ガラス美術館

「コレクション展 光のうつわ」

会期…開催中～六月一日

<https://toyama-glass-art-museum.jp>

◆黄金崎クリスタルパークガラスミュージアム

「ガラスの表現・多彩な表面」展

会期…開催中～六月十八日

<https://koyo-nishizu.jp/crystal-museum/>



※いずれも展覧会詳細は各ホームページをご覧ください。

《編集・発行》

〒226-0015 横浜市緑区三保町二〇六〇

ギャラリー仲摩 仲摩マサ枝

[nakama@nakama.co.jp](mailto:nakama@nakama.co.jp)

TEL:090-1053-6642 FAX:045-507-3080

<http://www.nakamo.jp>